

09. TMKミライデザインプロジェクト

(玉城町明るい未来推進プロジェクト)

地域創生のお手伝い

本プロジェクトは、玉城町の住民の方々と行政など支援サービスの方々と一緒に自分たちが住んでいる地域の魅力や課題について考えることやそのきっかけを作る取り組みを行っています。今年度は防災について考えること、子どもたちにまち歩きを通じて地域の危険箇所を新たに発見することや確認するという活動を主に行いました。また、まち歩きでは鳥羽商船高等専門学校の学生と協力して活動を行っています！

メンバー数：3名
活動場所：玉城町
実施主体：玉城町総務政策課
担当教員：池山 敦（教育開発センター）
活動年度：H30, R01, R02, R03, R04, R05, R06



二つ目の活動としてまちづくり会議に参加させていただきました。地元の住民の方がどのようにしたら住み良いまちになるかを集まって話し合う会議に参加させていただき、まちづくりについて考えることができました。

三つ目の活動では下田辺地区の子どもたちを対象に、鳥羽商船高等専門学校の学生が作成した「ロゲミン」というアプリを使いました。地図の中にピンを刺すことができ、その地点がどのような危険があるのかを種類分けすることができるアプリです。活動では子どもたちが2つのグループに別れて、地図の中に危険箇所を8箇所ピン付けし、その後互いのグループが地図を交換してその中から5箇所を選んで周り、どのような危険がありどのようにしたら危険を避けられるかという問いを大人が子どもに投げかけて一緒に考えました。これらの活動を通じて地域の安全確認と暮らしやすいまちづくりについて子どもたちと大人たちが考え、改善していくきっかけとなりました。12月のイベント実施に向けては、玉城町役場の方や鳥羽商船高等専門学校の学生などと打ち合わせを重ね、準備を進めていきました。当日は、子どもたちが地図作成やまち歩き、缶バッチ作りといった活動全体を通じて楽しんでいる様子が印象に残りました。また、子どもたちが想像力を働かせながら「なぜここが危険なのか」と考える姿も印象的で、このイベントの実施意義を強く感じました。

どの活動の前にもzoomによるオンラインミーティングの中で、活動の内容や活動の目標を玉城町役場の方、地域支援マネージャー、池山先生を中心に決めていきます。私達学生も積極的発言することができ、まちづくりについて学ぶだけでなく自らも参加してまちづくりに取り組むことができました。

活動の課題として授業が活動と重なることがあり、人数が少ないことで誰も活動に参加することができないということがあります。次年度以降ではできるだけ多くの活動にTMKミライデザインプロジェクトのグループが関わられるようにしていきたいです。

月別活動

- 8月 顔合わせミーティング
- 9月 新米を食べよう！
下外城田地区地域まちづくり会議
- 11月 下田辺地区子どもまち歩きミーティング
- 12月 下田辺地区子どもまち歩きの実施

1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

今年度最初の活動として防災についての取り組みを行いました。災害が起きた際に電気やガスがなくともご飯を食べられるということを経験しました。集まった皆さんが新米を持ち寄りくださり、ビニール袋と沸騰させたお湯を使って新米を炊くことや実際に新聞や着火剤を使って火おこしをして、その起こした火を使って炊き出しをしました。

活動を通して学んだこと

地域住民が協力して生活していくことが大切だと思いました。全ての活動を通じて、全ての人が知っていることもあるが、それ以外にも気づかないこと、思いつかないことなどが絶対にあり、その考えを共有する機会を作りそこに参加することの重要性を学ぶことができました。また、玉城町に住んでいない私たちにも共通していることがあると思います。交通事故など日常生活で危険な場所を共有することだけでなく、災害の際に助け合いができる地域性、つまり近所の人が顔見知りであることで助け合いができるということを学びました。また、そのように顔見知りであるためのきっかけとなる機会を作ることの重要性を学ぶことができました。

実施主体からのコメント

玉城町総務政策課
ご担当者様

玉城町のプロジェクトに参加いただきありがとうございます。気軽に参加できる活動から自分たちで考えて企画・行動する活動がありましたが、受け身にならずにどの活動にも主体的に行動していたことは素晴らしいことだと見ていました。初対面の地域の大人にも積極的に話しかけたり、参加する子どもたちのことを考えた企画や安全を見守る意識など、自分たちにできること、その時のベストを出そうという姿勢は、機会があればまた玉城町に関わってほしいと思いました。

社会には答えがないことや状況によって最適解が違うことがあります。小さな経験だったかも知れませんが、自ら考えて行動する機会になっていたら嬉しく思います。プロジェクトに参加いただきありがとうございました！



担当教員より

教育開発センター 池山 敦

玉城町での行事を通し、様々なことが体験できたようです。地域で暮らす中には、一定の危険がある場合があります。なにも越したことはないですが、災害や気象条件、交通の状況などによっては危険箇所が出てくるので、それについてまず知ることが大切です。そして、どうすればそこで危険でない行動ができるのかを考えることが必要だと思います。子どもたちにもわかるように、安全に暮らす方法を考えることはとても大切なことだということをおつかれさまでした。



こんな人におすすめ！

- ・地域に出て活動してみたい人
- ・子供と触れ合うのが好きな人
- ・人と接することが好きな人
- ・積極的に話しかけられる人
- ・伸び伸びと活動がしたい人

成果物 / 制作物